

第2回上板町水道事業運営審議会議事録

日 時 令和2年12月15日（火）午後7時35分～8時35分

場 所 上板町役場水道課 会議室

出席者（審議会）10名
（事務局（水道課））5名
（関係者）アドバイザー1名

欠席者 なし

会議日程 1 開会
2 会長挨拶
3 資格審査報告
4 議事 （1）前回議事補足説明について
（2）水道事業の概要について
（3）料金水準と料金体系について
（4）その他
5 閉会

傍聴人 なし

【配付資料】

会次第、「水道事業の概要について」「料金水準と料金体系について」

議事の経過

午後7時35分に開会、会長挨拶の後、資格審査報告が行われ、委員全員の出席が確認された。会長が議長を務め、以下の議事が進行された。

議事（1）前回議事補足説明について

事務局より補足説明を行いたいと提案があり、委員の同意を得たうえで、関係者として参加しているコンサルタント業務委託者が説明を行った。

関係者

年々使用水量が減少しているのに、なぜ新しい水源地が必要なのか、説明させていただきます。上板町の水源地は、高瀬水源地、佐藤塚水源地、下六條水源地が存在します。

高瀬水源地は昭和44年築造、佐藤塚及び下六條水源地は昭和59年築造で、高瀬で50年以上、佐藤塚・下六條は築35年となり、経年劣化が見られております。

各水源地の形態は、高瀬水源地は第一層の部分に湧き出ている浅井戸で、佐藤塚と下六條は粘土層をいくらか通過した深度80mの深井戸です。

次に取水量の内訳は、高瀬水源地 5,900 m³、佐藤塚水源地 950 m³、下六條水源地 950 m³となっており、本町の主な水源が高瀬水源地であります。

近年ではありますが、浅井戸において生活排水の浸水による水質悪化で取水停止された事例があります。水源地を確保するには、町議会、県安全衛生課、厚生労働大臣等の承認を得なければならないため、緊急に間に合わないことを踏まえ、水質が安定し且つ浸水被害が少ない新しい深井戸水源地を確保し、高瀬水源地の取水比重を分散化することを考えております。

また、全国では豪雨災害などによる河川氾濫、浸水被害が発生しておりますことを踏まえ、各水源地が吉野川に面している地形を考慮し、水源地の電気計装計器盤を高台に設置するなど、機器更新のみではなく災害対策も同時に講じていく方針案を策定しております。

そのため、水源地を確保する事業が必要であることをご理解ください。

【質疑なし】

議事（２）水道事業の概要について

事務局職員が上板町水道事業の現状、公営企業会計の基本構造、水道料金の原則、水道料金体系の概要について、配付資料をもとに説明した。

【質疑なし】

議事（３）料金水準と料金体系について

事務局職員が上板町水道料金の料金水準と料金体系の検討ポイントについて、また検討要件をもとに料金改定候補 6 パターンについて配付資料をもとに説明、質疑がなされた。質疑の内容は以下のとおりである。

【質 疑】

委 員

総事業費はいくらになりますか。

事務局

まず、水源地開発及び電気計装設備の更新に約 6 億円必要であると見込んでいます。その後、第 1 回目に説明させていただきましたとおり、導水管及び送水管の更新に着手させていただく計画で、管路更新事業として数億円必要だと思われま。

委 員

現在の有収率は何%ですか。

事務局

69.4%です。管路の老朽化が進んでおり、現状の予算では工事が出来ず、更新が追いついておりません。

委員

低いですね。漏水調査は行っていますか。

事務局

年間4～5回実施しています。

委員

調査して漏水が判れば水道管を修理することでポンプなどに必要な電気経費が削減され、料金水準も低く抑えられると思いますが、どうですか。

関係者

上板町は、配水池から各家庭へ自然流下方式を採用しており、高低差が約70mあり、0.7MPaの圧力が水道管へ加圧されております。町内ほとんど塩ビ管が採用されていますので、漏水が発生しています。

前回の会議で、職員より管路更新との説明がありましたが、ご指摘の電力費等の抑制を鑑み、役場から配水池への送水管更新事業においてφ300からφ400への増口径を提案する予定であります。

増口径することで1.4倍の水量を送水できるようになり、更新事業費用は増えますが、年間電気代が200万円削減され、ポンプ寿命を考えたもこれからの運営費用削減につながると思われれます。

配水管路の更新も行い有収率を上げることで、さらに費用削減を考えた事業計画を提案したいと思います。

委員

現在、上板町には土地開発申請や事業所参入など、水道水を大量に必要とする会社等の計画はありませんか。

事務局

上六條の工場跡地に乳飲料会社の工場誘致が計画されていますが、水道につきましても事業者より既施設を利用されるとの連絡があり、大きな水道需要増加は見込めないと想定しています。

委 員

事務局より料金パターン候補について説明がありましたが、選ぶ場合はどれが良いと思いますか。

委 員

水道料金を変更しなければ運営に影響があるとのことですので、改定率が最も低いパターンでお願いしたいと思います。事務局の推薦パターンを教えてください。

事務局

パターン6です。料金改定率が最も低いのはパターン2とパターン6で同じですが、パターン2の場合、基本水量は現行と同一ながら基本料金が1,800円と大幅な増額となります。

上板町では月間の水道使用量がグラフのとおり10m³以内の契約者で32%を占めています。独居老人の家庭での使用水量は10m³以下であり、また空き家でありながら開栓中の契約者が多い状況を踏まえた料金となる、パターン6を考えております。

委 員

本日その料金パターンを決めなければならないのですか。それは厳しいと思います。各員今回提出された資料を持ち帰り熟慮したうえで、次回において議論を深めてはどうですか。

事務局

事務局側で皆様が判断できるよう説明の準備を行いますので、次の会議でさらなる議論をよろしく申し上げます。

議事（4）その他

その他として、次回の審議会の日程について協議した。特に意見は出なかったため、事務局案の1月29日（金）午後7時30分開催で決定した。

水道課長挨拶の後、午後8時35分に閉会した。